



私たちは川の守り人

河川協力団体

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間かわたび
ぼっかいどう

令和7年3月25日

札幌開発建設部

「河川協力団体」を新たに指定

～自発的な河川の維持、環境の保全等に関する活動を支援～

札幌開発建設部では、令和6年度「河川協力団体」の募集を行い、この度、札幌開発建設部管内の夕張川で活動している「株式会社 エコテック」及び「夕張川自然再生協議会」、石狩川で活動している「公益財団法人 草野河畔林トラスト財団」の3団体が、河川協力団体に指定されました。

今回の指定により、北海道開発局が指定する札幌開発建設部管内の河川協力団体は14団体となります。また、札幌開発建設部では、下記のとおり河川協力団体指定証の交付式を行います。

記

1. 日 時 令和7年3月27日（木） 10:00から
2. 場 所 江別河川事務所 1階 会議室（江別市高砂町5番地）
3. 指定団体名 株式会社 エコテック
公益財団法人 草野河畔林トラスト財団
夕張川自然再生協議会
4. そ の 他 ・本交付式への取材は報道機関のみとさせていただきます。
・取材を希望される方は、下記の間合せ先までお申込みください。当日は開催時刻10分前までにお越し願います。

河川協力団体制度の詳細は、北海道開発局のWEBサイトでご覧いただけます。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/kawa_kou/ud49g70000010084.html

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局札幌開発建設部

河川計画課 課長 森田 共胤（電話番号 011-611-0329ダイヤルイン）

流域治水対策専門官 鈴木 史郎（電話番号 011-611-0329ダイヤルイン）

江別河川事務所 副所長 柏谷 和久（電話番号 011-382-2358）

FAX : 011-611-4210 札幌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/>



河川協力団体

「河川協力団体」制度とは

河川の維持、河川環境の保全などの河川の管理につながる活動を自発的に
行っている民間団体等を『河川協力団体』として法律上位置付け、河川管理者
と河川協力団体が充実したコミュニケーションを図り、互いの信頼関係を構築
することで、河川管理のパートナーとしての活動を促進し、地域の実情に応じ
た河川管理の充実を図ることを目的として制度化されました。

河川協力団体の主な活動

①河川管理者に協力して行う河川工事 又は河川の維持



河川敷清掃



ビオトープの整備

②河川の管理に関する情報又は資料 の収集及び提供



船による監視



シンポジウムの開催

③河川の管理に関する調査研究



外来種調査



鳥類調査

④河川の管理に関する知識の普及及 び啓発



マイ防災マップづくり



安全利用講習

⑤上記に附帯する活動

「河川協力団体」として活動するメリット

- ・社会的信用度の向上
- ・団体会員のモチベーションの向上
- ・占用に伴う手続きの簡素化
- ・河川協力団体間の連携
- ・河川管理者との関係構築
- ・河川に関する情報入手

指定番号 国 (北海道開発局)	団体名	河川協力団体 として 活動している河川	河川協力団体としての 活動内容
第1号	赤平ラブ・リバー推進協会	空知川	・河川清掃(植花活動) ・河川美化啓蒙活動
第2号	幾春別川をよくする市民の会	幾春別川	・河川清掃(除草、樹木剪定等を含む) ・自然体験学習
第3号	石狩川下覧権	石狩川、砂川遊水地	・河川清掃 ・自然体験学習(川下り、川塾等)
第5号	栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会	夕張川	・鳥類・水生生物・植物調査・魚類調査 ・自然体験学習(川下り等) ・夕張川の管理に関するシンポジウム ・指導講習会
第6号	NPO法人 まち・川づくりサポートセンター	石狩川	・河川清掃 ・自然体験学習(川下り等) ・滝川地区地域防災施設での展示物の説明
第7号	NPO法人 山のない北村の輝き	旧美唄川	・河川清掃 ・北村地区河川防災ステーション周辺における植樹活動 ・河川管理者(北海道開発局)と連携した伐木処理 ・自然体験学習(水辺の楽校)
第18号	河川愛護団体リバーネット21ながめま	夕張川 長栗大橋付近 嶮淵川 舞鶴遊水地	・自然体験学習(子供水防団の訓練) ・植樹活動
第19号	NPO法人 ふらっと南幌	夕張川右岸 栗幌橋付近 から清幌橋下流付近 夕張川、旧夕張川、 千歳川、石狩川	・河川清掃(除草含む)、植物調査 ・自然体験学習
第23号	NPO法人 カラカネイトンポを守る 会 あいあい自然ネットワーク	石狩川 当別地区自然再生地付近 茨戸川 あいの里、ピトエ地区付近	・昆虫調査、研究 ・環境教育、自然観察会(植物、魚類等)、ビオトープ維持保全活動
第24号	NPO法人 三笠森水遊学舎	幾春別川	・河川清掃
第29号	株式会社 櫻井千田	砂川遊水地	・外周天端の除雪 ・河川清掃
第31号 (新規)	株式会社 エコテック	夕張川 幌向自然再生地	・ミズゴケの栽培・移植 ・導入種保護のための外来種駆除 ・環境啓発イベント等支援
第32号 (新規)	公益財団法人 草野河畔林トラスト財団	石狩川	・自然セミナー、外来種駆除活動 ・環境保護教育ツアー
第33号 (新規)	夕張川自然再生協議会	夕張川	・夕張川に関するシンポジウム ・サケ・マス自然復帰、青少年の川の体験学習 ・河川清掃・環境保全活動 ・夕張川実態調査、水生植物復元

河川協力団体

株式会社 エコテック

株式会社エコテックは、石狩川水系夕張川の『幌向地区自然再生地』において湿生植物の保全活動続けるさまざまな団体や教育機関と連携し、ミズゴケの栽培・移植活動を継続してきました。かつて石狩川下流の低平地に広がっていた高層湿原の貴重な環境を未来に残すことに取り組んでいます。

【平成3年(1991年)設立】



河川協力団体としての活動内容

石狩川水系夕張川（幌向地区自然再生地）

- ・ ミズゴケの栽培・移植
- ・ 導入種保護のための外来種除去
- ・ 各主体による環境啓発イベント等支援



主な活動状況

ミズゴケの栽培・移植活動

幌向地区自然再生地では、高層湿原の基盤として欠かすことのできないミズゴケが最も不足しており、できるだけ多くの人の協力を貰いながら、ミズゴケを増やし、再生地に移植する地道な活動を継続することで、貴重な湿生植物を次世代へ残します。



外来植物等の除去活動

幌向地区自然再生地の維持に協力している様々な団体と連携して導入種の定着を阻害する外来植物などの駆除を実施。また、地元の幌向小学校などによる湿地性植物の移植体験活動をサポートします。



教育機関等と連携した活動

江別太遊水地造成時に見つかったミズゴケの一部を星置養護学校の授業で栽培（平成30年6月から）。増やしたミズゴケを幌向地区自然再生地へ移植（令和4年～令和6年まで3回）。栽培の輪は新たな教育機関にも広がり、今後もこの作業を毎年継続して参ります。



河川協力団体

公益財団法人 草野河畔林トラスト財団

「草野河畔林トラスト財団」は、北海道内に約170haの河畔林、溪畔林を保有し、北海道における自然環境の保全、復元及び活用、環境教育等の事業を行っています。

石狩川に沿う「しのつ河畔林」では、学生ボランティアによる外来種駆除や市民に向けた自然セミナーを実施。また、全道の小学5・6年生を対象とした環境保護教育ツアーを企画・運営。これらの事業を通して、河川周辺環境の維持・改善意識の向上及び自然保護思想の普及啓発に努めています。

【平成23年(2011)設立】

河川協力団体としての活動内容

石狩川水系石狩川

自然セミナー、外来種駆除活動、
環境保護教育ツアー



主な活動状況

自然セミナーほか

毎年5月には酪農学園大学の学生ボランティアに協力いただき、特定外来種であるオオハンゴンソウの駆除を実施しています。また、市民を対象とした自然セミナーでは、河畔林の成り立ち、植物の植生を学びます。また、7月下旬には全道から公募した小学5・6年生による環境保護教育ツアーを実施しています。2016、2019年はハワイ、2024年は奄美大島にて実施しました。河川・海・山とそこに生きる動植物を観察、また、自然と共に生きる住民の皆さんとの交流を通じて、環境保護の姿勢を学びます。



学生ボランティアによる
外来種（オオハンゴンソウ）駆除活動の様子



市民を対象とした自然セミナーの様子



奄美大島で開催した小学5・6年生対象の環境保護教育ツアーの様子

河川協力団体

夕張川自然再生協議会

夕張川自然再生協議会は、夕張川とその流域河川をサケ・マスが遡上し、自然産卵・繁殖できる豊かな川にしていくことを目的として活動しています。

サケの里親・放流、河川清掃など夕張川流域河川の保全及び改善に資する活動を行っています。また、シンポジウムや青少年の川の体験学習、ネイチャーポジティブの普及など夕張川流域河川の環境に関する啓蒙と環境教育にも取り組んでいます。

【平成27年(2015年)設立】

夕張川 雨煙別川合流点



河川協力団体としての活動内容

石狩川水系夕張川

夕張川に関するシンポジウム、ネイチャーポジティブ啓発活動、サケ・マス自然復帰(放流、里親)、青少年の川の体験学習 河川清掃・環境保全活動(除草、いきもの観察会含む)、夕張川実態調査(サケ・マス産卵床調査)、水生植物復元



主な活動状況



子供達や近隣住民へ生息動植物の勉強会を実施 令和6年9月1日



自然産卵床を目的とした清掃と整備を実施 令和6年9月14日



4団体による宣言「栗山町ネイチャーポジティブ宣言2024」を栗山町に要望書として提出 令和6年8月2日



北海道の地方公共団体初となる「栗山町ネイチャーポジティブ宣言」を環境庁に登録 令和6年9月14日



「サケの稚魚放流会2024」参加人数約120名にて雨煙別川へ放流 令和6年4月6日



前年の12月より約30世帯のサケの里親事業を通じて命と故郷を伝える 令和6年12月14日

河川清掃・環境保全活動

「サケの還る故郷をつくろう！」自然豊かな夕張川の素晴らしさを次世代に繋いでいくために、魚道の維持(除草)や河川清掃を実施しました。
(令和6年9月1日・14日)

ネイチャーポジティブ啓発活動

8月2日に栗山商工会議所青年部、栗山建設協会、(一社)栗山青年会議所、夕張川自然再生協議会が発起し、「栗山町ネイチャーポジティブ宣言2024」を締結。同宣言の実施に向けた要望書を佐々木学栗山町長に提出し、9月14日に北海道の地方公共団体で最初となる「栗山町ネイチャーポジティブ宣言」をしていただきました。
(令和6年8月2日・9月14日)

サケ・マス自然復帰活動

サケ稚魚放流会やサケの里親事業を実施しました。
(令和6年4月6日・12月14日)